

ミヤコウミウシ (天神島臨海自然教育園)



ミヤコウミウシは背面に散在するこぶ状の突起と青く輝く斑点が特徴のウミウシです。天神島のウミウシ類としては大型で、体長 10cm を超えることもあります。天神島臨海自然教育園の海では 1 年中観察されますが、特に秋から冬にかけての時期には潮だまりや浅い海の岩の上などで大きく成長したものが見つかります。

火山豆石 (天神島臨海自然教育園)



笠島の火山豆石

天神島の地層には、火山豆石が観察できます。火山豆石は火山から噴出した火山灰が、静電気力や水蒸気の表面張力によって噴煙の中で集まり、固まったものです。中心には粗

い火山灰が核として入っていることがあります。火山豆石は火口から 20km 以内に落下することが多いので、天神島の地層ができた場所の近くには火山があったことが推定されます。火山豆石を含む地層は天神島から笠島へ向かって伸びていて、笠島の南西側の岩場で発見できると予想されます。しかし、笠島で注意深く地層を観察すると、笠島の北東側の岩場で火山豆石が見つかりました。天神島と笠島の間の海底には断層があって、地層がずれているためと考えられます。

自然教育園だより

横須賀市自然・人文博物館付属

馬堀自然教育園 / 天神島臨海自然教育園

Vol.8 No.3
(2015年秋冬号)

2015年11月29日発行
横須賀市自然・人文博物館
046-824-3688

自然教育園のできごと

キイロスズメバチの巣を撤去しました

10月9日、馬堀自然教育園でスズメバチの巣を撤去しました。9月下旬、園内の木の高いところに大きな巣が見つかり、それが園路に近かったためプロに頼みました。駆除された巣を博物館本館へ運び、巣を覆う壁を取りのぞいて中が見えるようにしました。

巣の大きさは高さ約50センチ、幅約40センチ。中には5階建ての巣盤すばんがありました。巣の中にはキイロスズメバチの働きバチのほか、来年の新女王バチと雄バチもいて、合計で約300匹もいました。



駆除前の巣(左)と手前側の壁を除いた巣(右)。右の巣の下には中に入っていたキイロスズメバチ。

イボタロウムシ

9月、天神島のオオバイボタに白い綿のようなものがついていました。

これはイボタロウムシ(別名イボタロウカタカイガラムシ)という昆虫の分泌物と分かりました。イボタの木でロウ(蠟)を分泌するカイガラムシという意味ですが、カイガラムシとはアブラムシに近縁な昆虫で、植物の汁を吸って蠟を分泌します。イボタロウムシの蠟を溶かし、布などで濾し固めたものが高級蠟の「イボタ蠟」で、桐箆筒きりたんすや生糸きいとのツヤ出し、障子・襖・巻物の滑り用、精密機械のワックス、止血剤など多岐に使用されます。蠟を分泌するのはオスの幼虫で、蠟をはがすと幼虫のいた穴を見ることができですが、これは夏に成虫になって飛び去った後のもので、秋は蠟の収穫シーズンにあたります。蠟の近くには丸い木の実



オオバイボタの枝の蠟(上)。蠟にみられた幼虫がいた穴(左下)。枝に巻きついてきたメスの死がい(右下)。

のようなものが枝に巻きついていましたが、これは初夏に仔を産んだメスの死がいで、中は空洞になっていました。

笠島を清掃しました

11月11日、博物館職員が天神島の北西に浮かぶ笠島に上陸してゴミを拾いました。大量のペットボトル、びん、缶をはじめ、カセットガスボンベ、テニスボール、長靴、おもちゃなど、いろいろなゴミが見られました。ゴミは天神島まで運び、洗浄・分別してから処分しました。博物館では定期的に笠島の清掃を行っていて、笠島の自然を保全しています。



笠島で集められたゴミ。

横須賀市自然・人文博物館と付属自然教育園のお問合せ

博物館(本館): 横須賀市深田台95 電話046(824)3688 Fax.046(824)3658

天神島臨海自然教育園・ビジターセンター: 横須賀市佐島3-7-2 電話(Fax.)046(856)0717

馬堀自然教育園: 横須賀市馬堀町4-10-3 電話(Fax.)046(841)5727

◎博物館や教育園の情報は下記ホームページでもご覧いただけます
<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>

天神島のみどころ (11~2月)

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



キタテハ (2月)



ウミウ (12月)



サラサウミウシ (1月)



ハマボウ (11月)



イソシギ (11月)



ハナイソギク (12月)



ハママツナ (11月)



オオキンカメモシ (11月)



メジロ (2月)

馬堀のみどころ (11~2月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



シロハラ (1月)



トウキョウサンショウウオ (12月)



オオミズアオ (幼虫) (11月)



センリョウ (11月)



オカジマイシノミ (11月)



ムラサキツバメ (11月)



ニホンミツバチ (2月)



ヒヨドリ (2月)



オオクモヘリカメムシ (1月)



コカマキリ (11月)